

# 第3次伊東市観光基本計画

リラックスできるまち・いとう

2019年度→2023年度



2019(平成31)年3月 伊東市

# 目次

## 第1章 計画の枠組み

- 1. 計画の目的と位置付け..... 1

## 第2章 計画の背景

- 1. 観光を取り巻く環境の変化..... 3
- 2. 国内観光の動向..... 6
- 3. 外国人観光客の動向..... 9
- 4. 観光立国実現に向けた国の取組..... 12
- 5. 静岡県の観光施策方針..... 13

## 第3章 本市観光の現状と課題

- 1. 本市観光の現状..... 15
- 2. 観光振興に向けた課題..... 19

## 第4章 観光振興の基本的な考え方

- 1. 取組の基本方針..... 23
- 2. 観光振興の方向性..... 24
- 3. 取組の全体像..... 26
- 4. 計画目標の設定..... 27

## 第5章 全市的な取組の方向性

- 1. 観光プロモーションと情報受発信機能の強化..... 29
- 2. インバウンド観光の推進..... 32
- 3. 推進体制の構築..... 35

## 第6章 地区別の方向性

- 1. 宇佐美地区..... 39
- 2. 伊東市街地地区..... 43
- 3. 南部地区..... 47

## 関連資料

- 付1 第3次伊東市観光基本計画に係る策定経過..... 51
- 付2 伊東市観光基本計画市民懇話会設置要綱..... 53
- 付3 伊東市観光基本計画市民懇話会 委員名簿..... 54
- 付4 伊東みらい観光塾設置要綱..... 55
- 付5 伊東みらい観光塾 塾生名簿..... 56

## 1. 宇佐美地区

目指す方向性 健康と癒しのアウトドアビレッジ



## 現状

- 海と山に囲まれた自然豊かな地区で、温泉とみかん等の果実狩りが主な観光資源であるが、時代の変化とともに新たな観光魅力の開発が求められている。
- 地区内には、市内唯一の国史跡である「江戸城石垣石丁場跡」を始めとして、いくつかの歴史文化遺産があるが、これらを貴重な観光資源として十分な活用がされていないのが実状である。
- 海の観光についても、海水浴客の減少、民宿経営者の高齢化等の問題を抱えている。また、サーフィンや釣りを楽しむ来訪者も多いが、それが必ずしも地区に大きな経済波及効果をもたらす役割を果たしていないのが実状である。

## 取組の視点

自然や歴史文化資源を生かしたアウトドア体験メニューの充実

多様な海・山の楽しみ方の提案

他産業と連携した新たな観光資源の開発

取組・施策の方向性

自然や歴史文化資源を生かしたアウトドア体験メニューの充実

(1) ウォーキング・サイクリング客等の誘客

宇佐美地区の豊かな自然や歴史文化資源を巡るルートと休憩や食事等のポイントの整備、ガイドシステムの充実等によって、ウォーキングやサイクリング客を誘客し、市内での消費を促す。回遊ルートやツアープログラムの整備に当たっては、国史跡「江戸城石垣石丁場跡」や市史跡「(歴史古道)東浦路」及び「宇佐美城址」等、伊東市が保有する歴史文化遺産に焦点を当てることで、歴史好きな中高年層、「歴女」や「城ガール」と呼ばれる若い女性マニア層を対象とした取組も推進する。

(既存の施策)

- 「ゆったり・湯めまちウォーク」等のウォーキングイベント
- ウォーキングルートの整備 (地域の歴史・文化資源を生かしたルート開発)

(展開施策例)

- 歴史文化をテーマとしたツアー開発 (国史跡「江戸城石垣石丁場跡」体感ツアー、「吉田松陰と歩く」歴史古道体感ツアー等)
- ウォーキングの聖地づくり (多彩なコース設定、イベント、ガイドシステム整備等)
- テーマサイクリング・ガイドツアーの開発 (寺と仏像巡り等)
- eバイク (電動自転車) による高低差のある宇佐美のまち巡りガイドツアー
- ITを活用したガイドシステムの整備
- 巢雲山、大丸山のハイキングコースを活用した誘客

(2) マリンレジャーの振興

海水浴だけではなく、多様なマリンレジャーに適したフィールドである宇佐美海岸を、イベントによる発信や体験プログラムの拡充によって積極的にアピールし、新たな客層の開拓と夏のシーズン以外の誘客を促進する。

(展開施策例)

- ビーチ・マリンスポーツの大会や合宿誘致等
- 競技団体やサーフィン、ボディボード<sup>32</sup>等の専門ショップとの連携 (教室や体験イベントの開催)
- 新しいマリンスポーツのデモンストレーションイベントの誘致・開催



(宇佐美海岸)

<sup>32</sup> ボディボード：小型のボードに腹ばいになって波乗りを楽しむマリンスポーツ

- マリンレジャーアクティビティの体験サービス提供事業者の育成、支援  
(SUP<sup>33</sup>、SUP ヨガ<sup>34</sup>、シーカヤック、フライボード<sup>35</sup>等)
- 釣りやマリンレジャー専門誌、ウェブサイト等とのタイアップ広報

### 多様な海・山の楽しみ方の提案

#### (1) アウトドアライフを楽しめる場やサービスの充実

海や山の変化に富んだ自然の中で、アウトドアレジャーが楽しめる場所やサービスを充実させ、家族連れやグループで一日楽しめるプログラムの提案等によってアウトドア志向の若者やファミリー層の来訪を促進していく。

##### (展開施策例)

- 自然を活用した体験プログラムを提供するサービス事業者、NPO 等への活動フィールドの提供（自然体験学習、森林セラピー等）
- キャンプ、オートキャンプの受入れ体制整備（民宿等の新たなビジネス開発）
- バーベキューパーク、スポット整備、グランピング（高品質キャンプ）施設の誘致（海や山の景観を生かしたロケーションの活用）
- アウトドア関連の雑誌やウェブサイト等を通じた情報発信
- 砂浜を使った健康・癒し教室・体験会の開催（ビーチヨガ、ビーチラン、海岸線ウォーキング等）
- 宇佐美海岸のユニバーサルビーチ化<sup>36</sup>の検討

#### (2) 宇佐美地区の魅力を発信するイベントの展開

市内外から多くの来場者を呼び込むとともに、宇佐美地区の観光資源や地場産品等をアピールできるイベントを展開し、地区の魅力を効果的に発信していく。

##### (既存の施策)

- 宇佐美地区のシンボルイベントとしての UsaMI フェスの拡充

##### (展開施策例)

- 自然体験型イベントの開催（ログイニング、トレイルラン等）



(UsaMI フェス 2018)

<sup>33</sup> SUP：「Stand Up Paddleboard（スタンドアップパドルボード）」の略称。ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進んでいく水上スポーツの一種で、初心者でも手軽に楽しめることから、近年、人気上昇している。

<sup>34</sup> SUP ヨガ：海や湖等の水上で SUP ボードの上で立ってヨガを行うもので、地上よりも体幹が鍛えられフィットネス効果が高いと言われている。

<sup>35</sup> フライボード：ボードの上に立ち、両足の下から噴出される水圧に乗り、水上を自由自在に飛び回るアクティビティ

<sup>36</sup> ユニバーサルビーチ化：駐車場、更衣室・シャワーやトイレ等の施設面の工夫や水陸両用車椅子の貸出し、福祉ボランティアの配置等によるサービス面での対応を充実させることで、ビーチを利用する上での様々なバリア（障害）をなくし、「誰もが口緒に楽しめるビーチ」にしていこうという取組

- ピーチフェスティバルの開催（スポーツ体験、音楽＋海鮮バーベキューパーティ等）
- 20m道路を活用した市街地活性化イベントの開催（ストリートスポーツ体験、地場産品マルシェ、ソウルフード&地ビールまつり等）

### 他産業と連携した新たな観光資源の開発

観光事業者と地域の団体や異業種の事業者等が連携することで、既存の宇佐美地区の観光資源に新しい側面から光を当てて付加価値を高めていく。

#### （展開施策例）

- みかん（果実）狩り＋アルファのツアープログラム開発（収穫＋スイーツ作り体験等）
- 漁船クルージングの商品メニュー化
- 宇佐美漁港を起点とした釣り大会や釣り入門体験サービスの事業化

